

2026年5月25日



各位

会社名 株式会社三井E&S
代表者名 代表取締役社長 高橋 岳之
(コード: 7003、東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経営企画部長 村田 教行
(TEL. 03-3544-3147)

「三井E&S Rolling Vision 2026 (中計)」策定に関するお知らせ

当社グループは、2024年8月に新3ヵ年計画「三井E&S Rolling Vision 2024」を公表しました。

「三井E&S Rolling Vision」は、3年先までの目標を1年ごとにローリング方式で更新し続け、成長し続ける姿を描く中期経営計画となります。

この度、2025年度の決算実績および事業環境の変化を踏まえ、3年後となる2028年までの機能戦略(財務・人材)、事業戦略をローリングした「三井E&S Rolling Vision 2026」を策定しましたのでお知らせいたします。

当社グループが2030年に目指す姿へ向けて持続的な成長をしていくため、必要な事業投資を進めるとともに、適正な配当政策による株主還元を行い、株主資本コストと負債コストのバランスを意識し企業価値向上に努めてまいります。

記

1. 三井E&S Rolling Vision 2026の概要

	2025年度実績	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
受注高	3,158億円	3,700億円	4,000億円	4,500億円
売上高	3,532億円	3,700億円	4,100億円	4,400億円
営業利益	376億円	320億円	380億円	420億円
営業利益率	10.7%	8.6%	9.3%	9.5%
有利子負債	927億円	950億円	950億円	950億円
自己資本比率	46.3%	48%	48%	50%

2. 2028年度に向けて成長のシナリオ

当社グループの主力事業における受注環境は、比較的良好な状況が当面続くと予想されるものの、一方で、中東情勢の緊迫化や資源価格の上昇に伴う物価上昇など、不確実性の高い状況になっております。これらの動向を踏まえ、2026年度は保守的な見方を一部織り込んでいます。2027年度以降は2028年度に向けて持続的な成長の実現に向け、中核事業のさらなる成長および新規事業の拡大を推進してまいります。

- ・成長事業は、デジタル技術を活用した保守・メンテナンスビジネスの強化を図ります。
- ・船用推進システム事業は、グリーン技術に基づいたエンジンおよび周辺機器ビジネスの拡大を進めます。
- ・物流システム事業は、米国・アジア地域における需要に対応し、生産能力の拡大を推進してまいります。

詳細は別紙「三井E&S Rolling Vision 2026」をご参照ください。

以上

三井E&S Rolling Vision 2026（中計）

-中長期的な目標設定について-

2026年 5月 25日

MITSUI E&S Co., Ltd.

 **MITSUI E&S**

株式会社三井E&S

目次

内容

	頁
1. 三井E&Sグループ 経営コンセプト	3
2. 三井E&S Rolling Vision 2026	4・5
3. Rolling Vision 2025の振り返り	6・7
4-1. Rolling Vision 2026 機能戦略：財務	8～10
4-2. Rolling Vision 2026 事業戦略・注力課題	11～14
4-3. Rolling Vision 2026 機能戦略：人材	15～17
5. サステナビリティ課題への取り組み	18
6. おわりに	19

注 省略型で記載する場合あり
 Rolling Vision 2024 : RV24
 Rolling Vision 2025 : RV25
 Rolling Vision 2026 : RV26

1. 三井E&Sグループ 経営コンセプト

三井E&S Engineering & Services for Evolution & Sustainability

➤ 企業理念

エンジニアリングとサービスを通じて、人に信頼され、社会に貢献する。
注力する事業ドメインを明確に定義・共有し、軸のブレない覚悟のある経営を心掛ける。

➤ ビジョン（目指す姿）

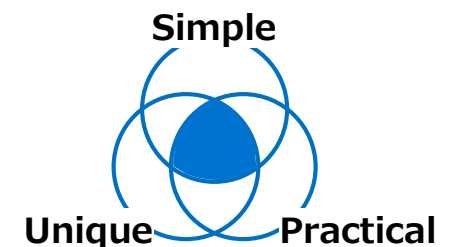
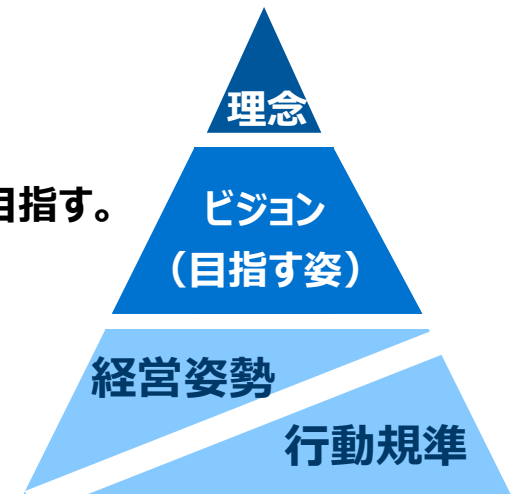
2030年までに、マリンの領域を軸に、脱炭素社会の実現と、人口縮小社会の課題解決を目指す。

➤ 経営姿勢

- **新しい価値の創造を顧客と共に実現** ▶ 事業視点
潜在ニーズのマーケティングと周辺技術のイノベーションで事業を推進していく。
- **健全な財務体質と堅実な利益を追求** ▶ 財務視点
限界利益/固定費の適時評価を軸に、事業や子会社を堅実に管理運営していく。
- **人的資本経営の推進** ▶ 人事視点
社会や顧客と共に課題解決に挑み、その成果を分かち合い、三方良しの関係を築く。

➤ 行動規準

シンプル、ユニーク、プラクティカルな製品やサービスに挑戦
常に顧客目線で3つの価値が重なる製品やサービスを考え、堅実な事業へと育み、社会に貢献する。



➤ 脱炭素社会の実現と人口縮小社会の課題解決をマテリアリティとして設定

2. 三井E&S Rolling Vision 2026（コンセプト）

Rolling Vision 2026は、最新の経営環境を反映させ、さらなる高みを目指す

【コンセプト】

- 2025年度は豊富な工事量を背景に、計画を大幅に超える営業利益を実現
- 2026年度は物価上昇、中東情勢等の不確実性を一定程度織り込み、保守的に計画
- RV26では成長を加速させ、RV25を上回る業績、2028年度に配当性向30%を目指す

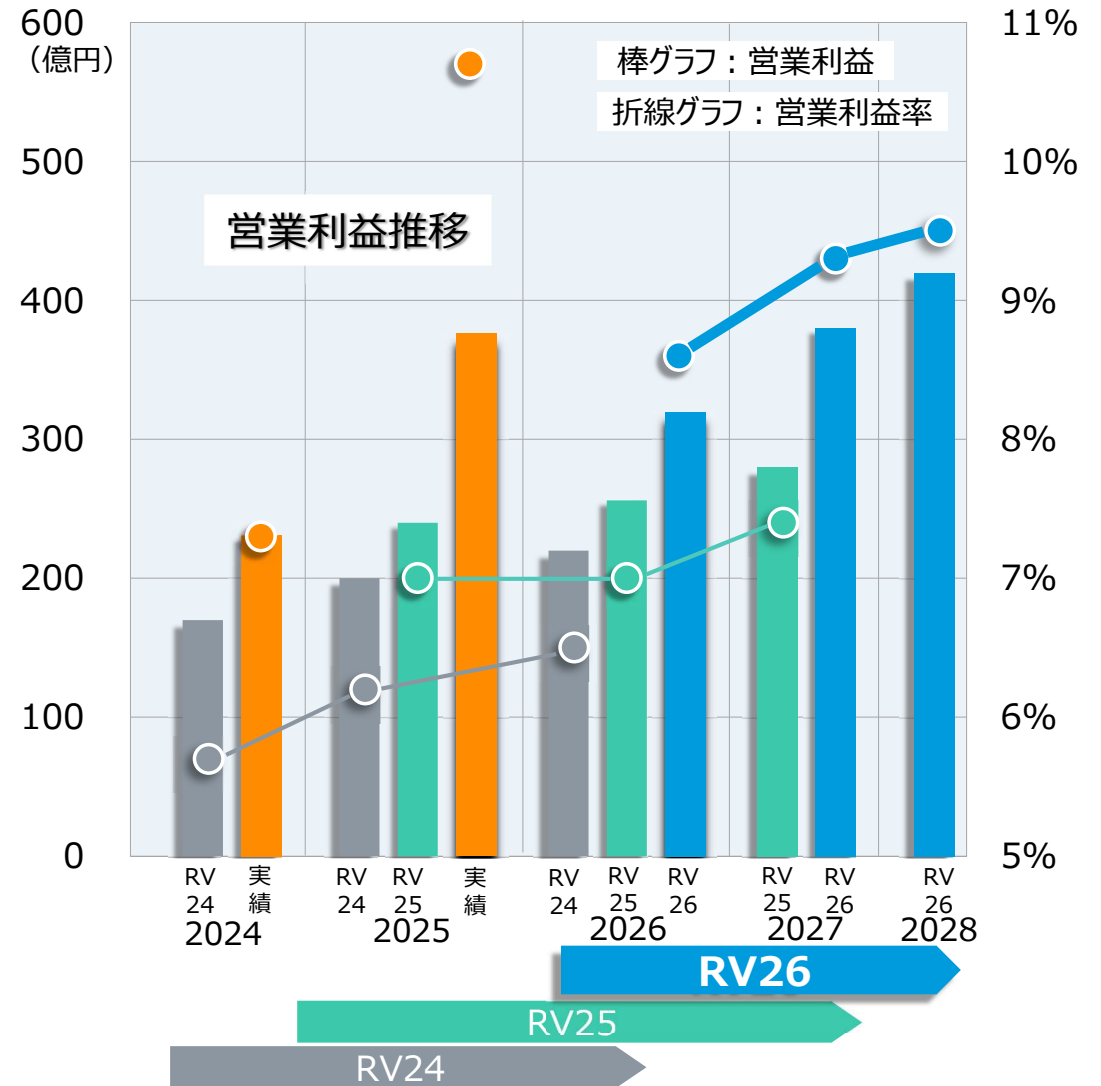
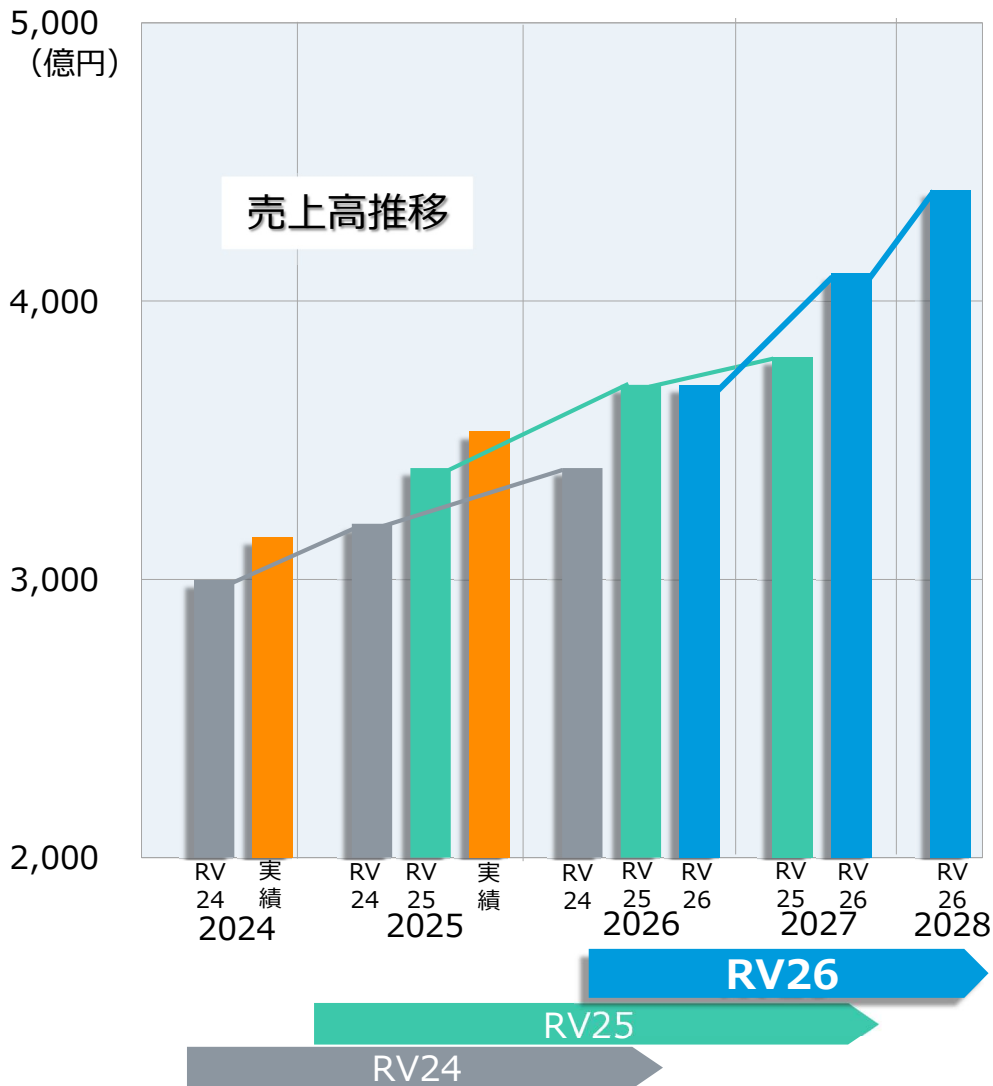
【取り組み方針】

- 事業戦略の推進に向けて投資活動をさらに加速し、その効果を早期に収益へ反映させる
- Marketing と Innovation の両輪を回し、新規事業および中核事業の成長を図る
- 人的資本経営を推進する

➤ RV26は RV25に一定の不確実性も織り込み進化させ、最終年度には大きな成果を得る

2. 三井E&S Rolling Vision 2026

RV26はRV25より高い目標を設定、企業価値のさらなる向上を目指す



➤ RV25を上回るRV26の実現に向け、成長戦略を確実に実行する

3. Rolling Vision 2025の振り返り

2025年度は足場を固め、大きく前進した一年であった

2025年度の取組み状況

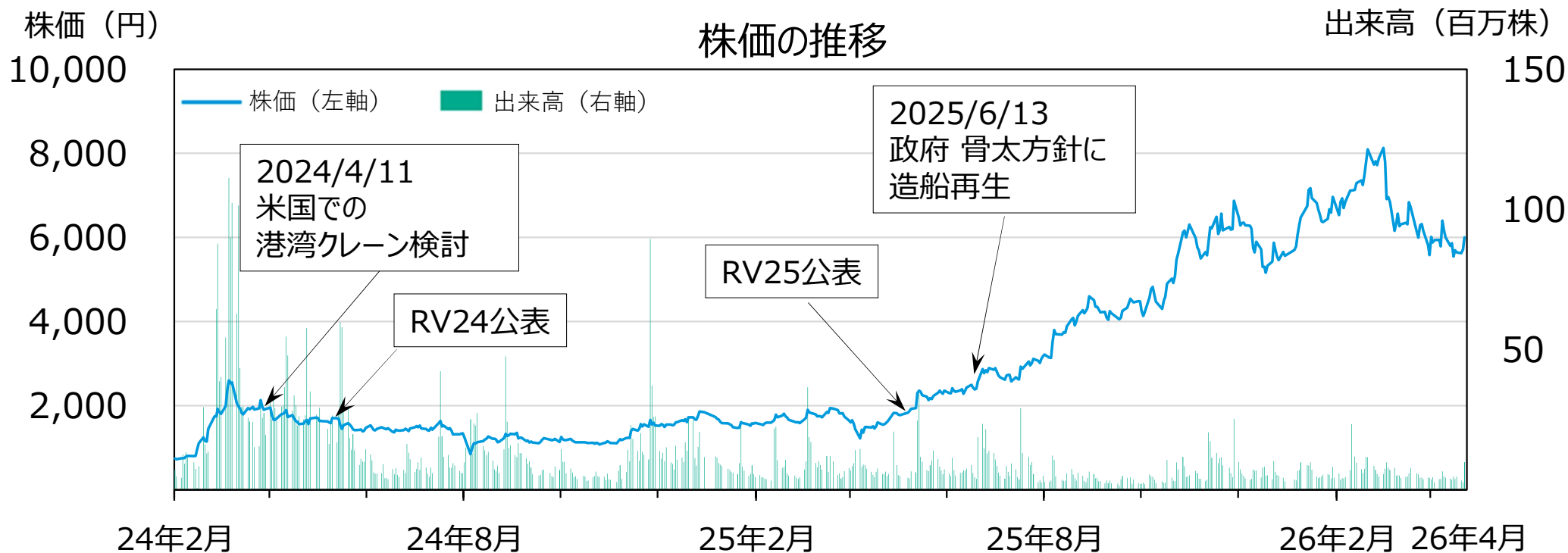
		ビジョン（目指す姿）
機能戦略	財務	<ul style="list-style-type: none"> ●発行体格付 A-を取得 ●営業利益増大 → ROIC > WACC 2年連続実現 ●配当性向引上げ（5%→15%）、中間配当実施
	人材	<ul style="list-style-type: none"> ●ローテーション制度の着実な実行 ●多様な人材の取り組みは着実に進む 女性比率（8.0%→8.0%） 外国人比率（3.2%→4.4%） ●従業員持株会向け譲渡制限付株式報酬の導入
事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●アンモニア焚き二元燃料エンジンの開発は順調 ●環境対応製品によるCO₂削減 25年度目標88万tに対し81万t ●自動化・システム化累計台数 25年度目標460台に対し509台で順調に進捗 	<p>株主資本コスト・負債コストを意識した経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ROIC > WACCの実現 ●ステークホルダーへの利益還元（配当性向30%） <p>組織風土の改革と社員の意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な人材の活躍による組織の活性化 女性比率：10%、外国人比率：7% ●多様な人材が活躍できる環境と教育制度の実現 <p>マテリアリティ目標の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境対応製品によるCO₂削減 ▲1,000万t-CO₂/年以上 ●自動化・システム化累積台数1,000件以上

➤ 財務状況の着実な向上、人材強化、中核事業強化のための各種施策を実行

3. Rolling Vision 2025の振り返り（株価）

業績の回復と財務基盤の強化に伴い株価は堅調に推移

当社の収益基盤や、財政規律を重視した事業運営方針などに総合的な評価を受けたもの



年度	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
配当性向（連結）	1.7%	2.0%	5.2%	15%	20%
配当額（1株当たり）	3円	5円	20円	57円	60円

➤ 今後も持続的な成長と企業価値向上を実現し、安定的な株主還元を実現する

4 - 1 . Rolling Vision 2026 機能戦略：財務

株主資本コスト、負債コストを意識した経営に着実に移行

		Rolling Vision 2025		Rolling Vision 2026		
		2025年度計画	2025年度実績	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
連結業績推移	売上高	3,400億円	3,532億円	3,700億円	4,100億円	4,400億円
	営業利益率	7.0%	10.7%	8.6%	9.3%	9.5%
	自己資本比率	39%	46.3%	48%	48%	50%
業績指標	ROIC (※1)	9%	16%	10%	10%	10%
	WACC (※2)	-	9%	-	-	-
	ROE	11%	19%	12%	12%	12%
	配当性向	15%	15%	20%	25%	30%

(※1) ROICは(営業利益-法人税等合計) ÷ (株主資本と有利子負債の前当期末平均) により算出

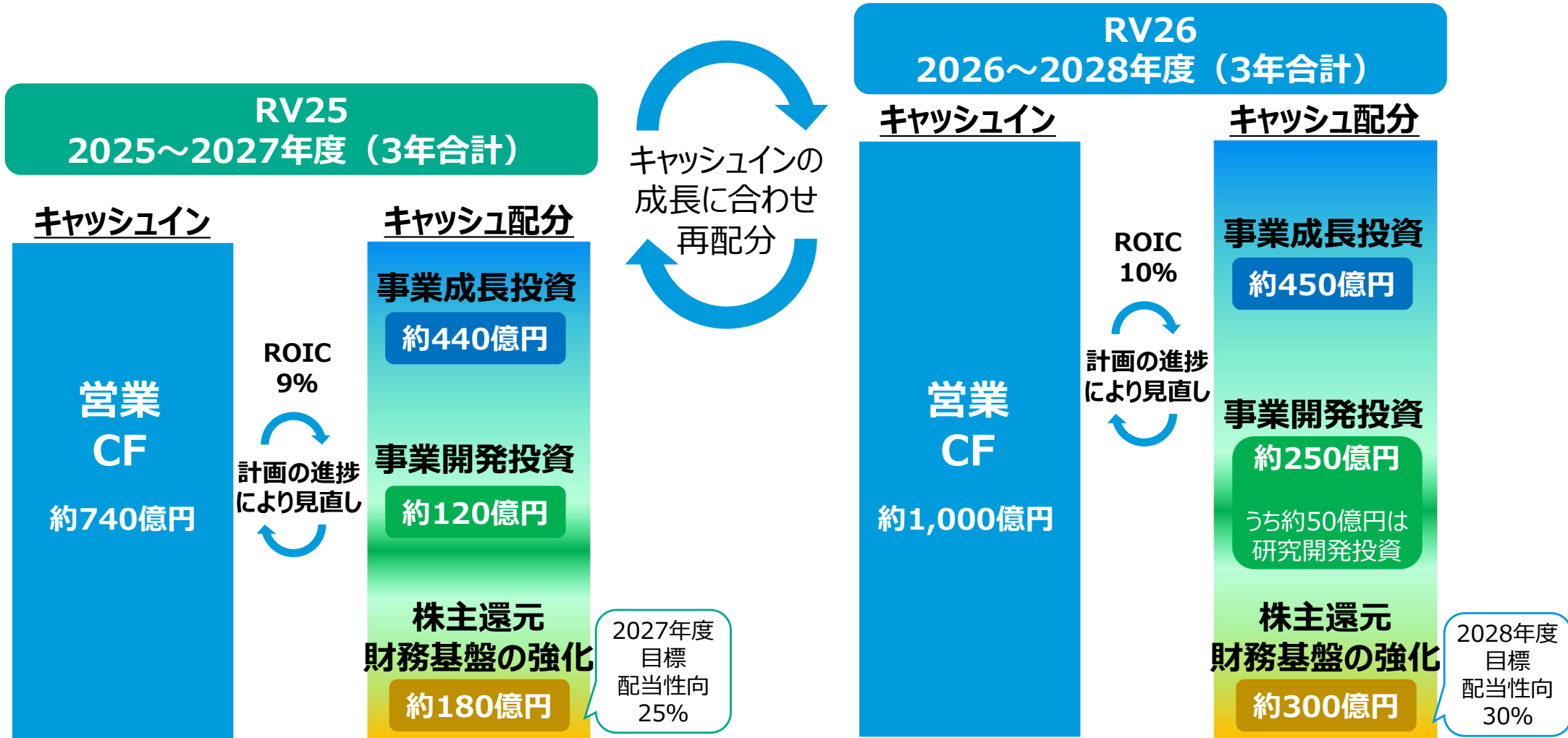
(※2) WACCは2026年3月末株価(5,577円)により算出

➤ 投下資本利益率 (ROIC) が加重平均資本コスト (WACC) を上回る姿を目指す

4 - 1 . Rolling Vision 2026 機能戦略：財務

キャッシュフローの再配分

財務体質の健全性を高めつつ、持続的な成長に向け成長投資を行い、株主の皆様への還元も進めます



➤ 約1,000億円のキャッシュは、70%を成長・開発投資、30%を株主還元・財務基盤の強化に配分

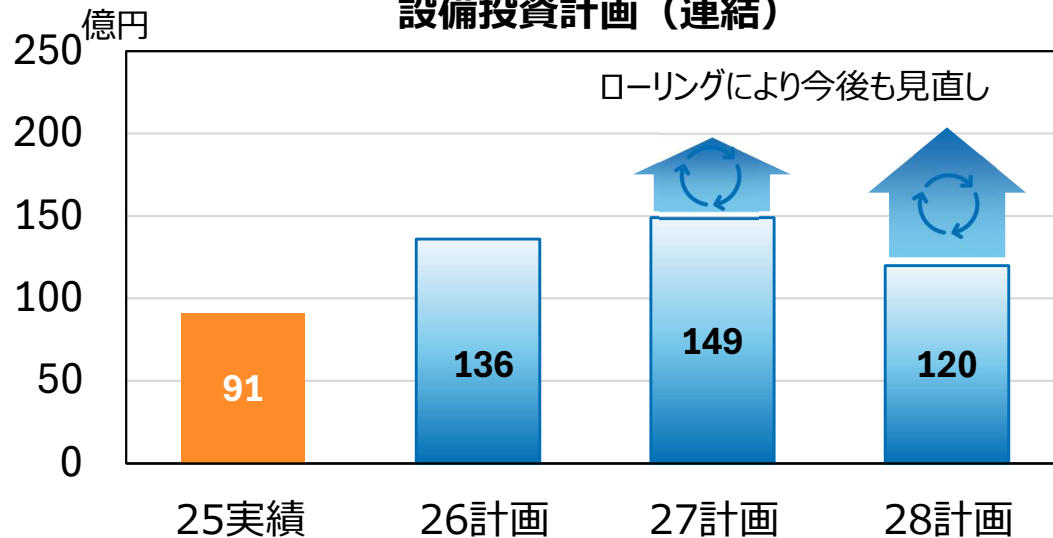
4 - 1 . Rolling Vision 2026 機能戦略：財務

設備投資・研究開発計画

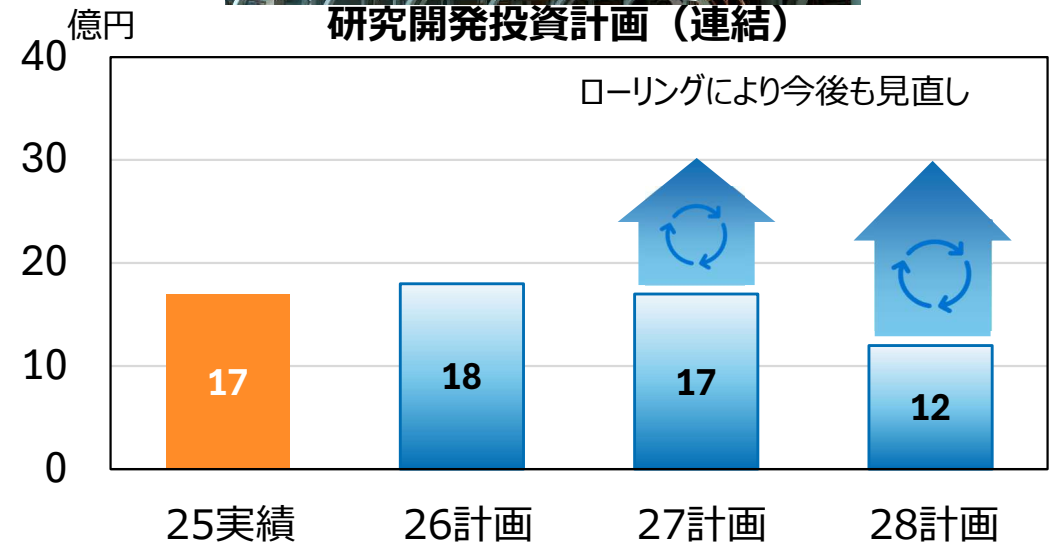
Rolling Vision達成の為、設備・研究開発投資を着実に進め、生産体制の強化、ビジネスの拡大を目指す



設備投資計画（連結）



研究開発投資計画（連結）

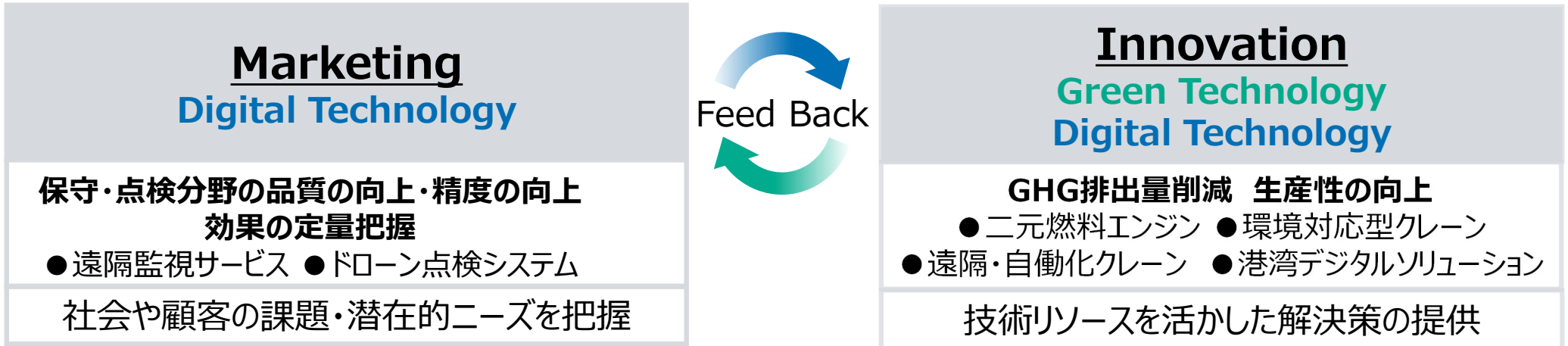


➤ 成長投資・開発投資により、コアビジネスを確実に成長させる

4 - 2. Rolling Vision 2026 事業戦略・注力課題

MarketingとInnovationの両輪を回し、受注および利益成長を図る

成長戦略 グリーン・デジタル技術の活用



注力課題 ①中核事業のさらなる成長 ②新規事業の拡大

成長事業推進	保守・メンテナンスビジネス拡大・強化	デジタル新規事業の推進
船用推進システム	二元燃料エンジンの開発、周辺機器ビジネスの強化	製品ラインナップの拡充
物流システム	増産体制の確立	世界市場展開

➤ 成長戦略を加速し持続的な成長を目指す

4-2. Rolling Vision 2026 事業戦略におけるトピック（成長事業推進）

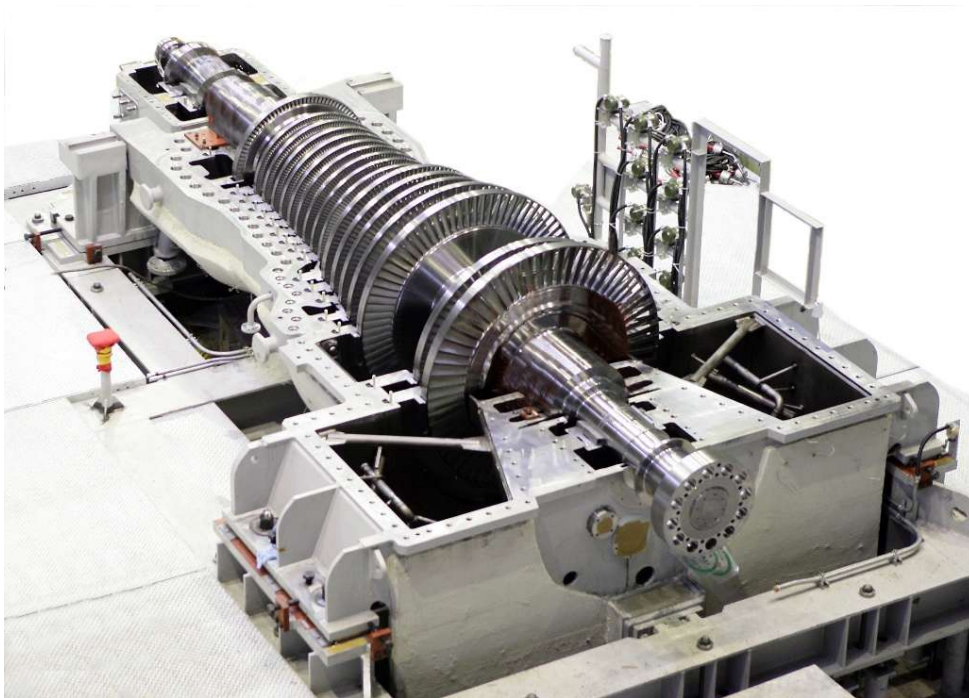
保守・メンテナンスビジネス拡大・強化

Digital Technology

メンテナンス事業の拡大

デジタル予防保全技術を使った先回りサポート等

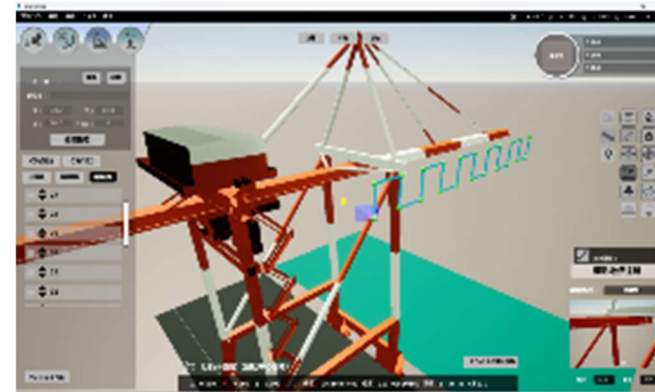
一例：世界的に老朽化したスチームタービン等が増加傾向
当社技術によりサービスを提供



ドローンスナップ

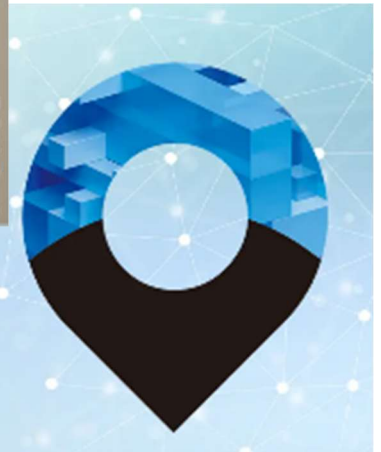
点検プロセス全体をデジタルでつなぐソリューション

ドローン自動飛行ルート作成アプリ「ドローンスナップ」で取得した画像・動画をクラウド上で一元管理する「ドローンスナップクラウド」を2026年4月より提供開始



DRONESNAP
ドローンカメラ

飛行から撮影までを
全自動に。
自動飛行で、より安全に。確実に。



▶ デジタル技術を活用した保守・メンテナンスビジネスを拡大する

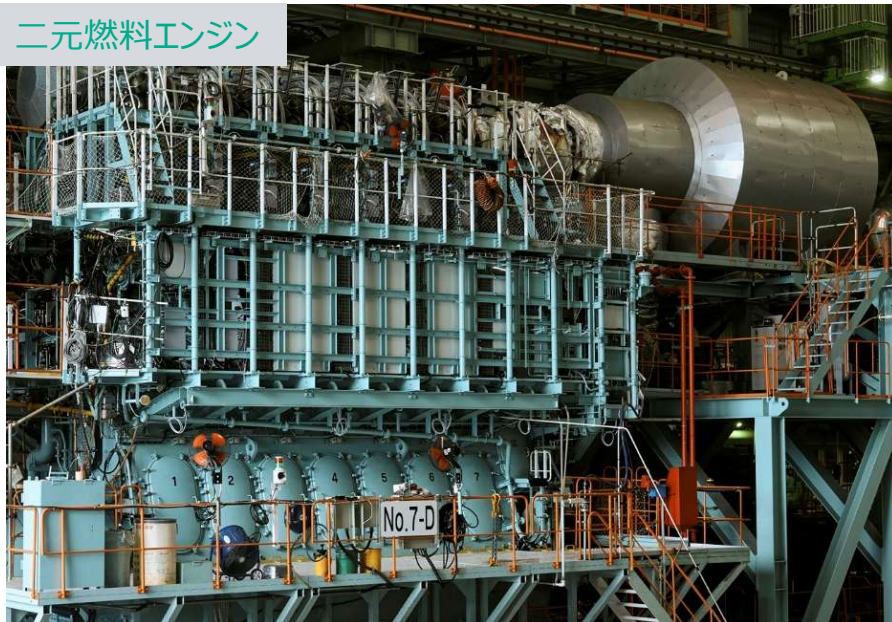
4-2. Rolling Vision 2026 事業戦略におけるトピック（船用推進システム）

二元燃料エンジンの開発・周辺機器ビジネスの強化

アンモニア燃料運転試験は順調に進捗、開発を加速させる

Green Technology

二元燃料エンジン

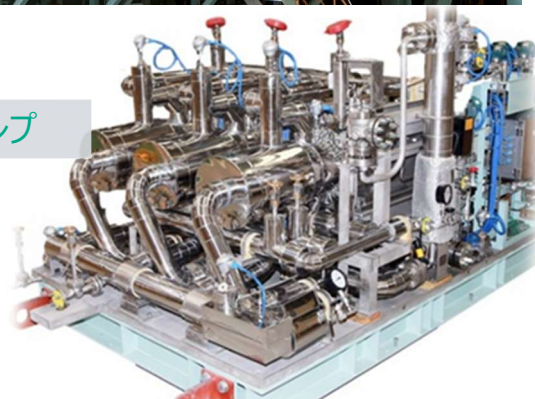


燃料供給装置

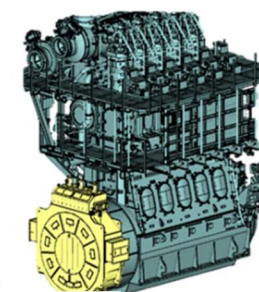


【周辺機器の拡販】

高圧LNGポンプ



オーバーハング型発電機



進行方向
(首端側)

プロペラ

➤ 二元燃料エンジン・周辺機器の開発を通じて海上物流分野の脱炭素の実現に貢献する

4-2. Rolling Vision 2026 事業戦略におけるトピック（物流システム）

増産体制の確立

米国・アジア※でのシェア拡大を狙い、増産体制を構築中

2025年度米国・アジア※ 受注実績（基数） ※日本を除く

ポーターナ	トランステーナ	2026年度の見通し
11	56	2025年度受注金額を約10%上回る予想

ベトナムでの製造委託



Green Technology

Digital Technology

環境対応型・遠隔対応クレーンの開発

グリーンとデジタルを切り口に製品ラインナップを展開

遠隔・自動化クレーン率

24年度	25年度	26年度 予想	27年度 予想
6%	7%	5%	14%

遠隔自動トランステーナ開発



遠隔操作卓



▶ ターゲット市場を押さえ、かつ、製品ラインナップを拡大し成長を図る

4 - 3 . Rolling Vision 2026 機能戦略：人材

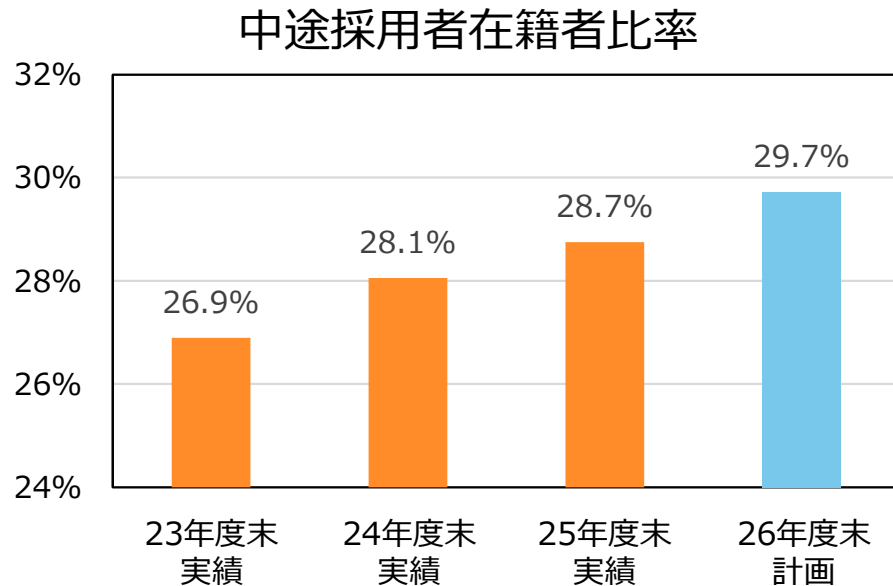
人材戦略 ① 人材多様性の推進 ② 人材流動化への対応 ③ 人的資本と環境整備への投資

Marketing と Innovation の両輪をまわすキーとなる人材の多様性を進める

人材の多様性の一翼を担う中途採用状況

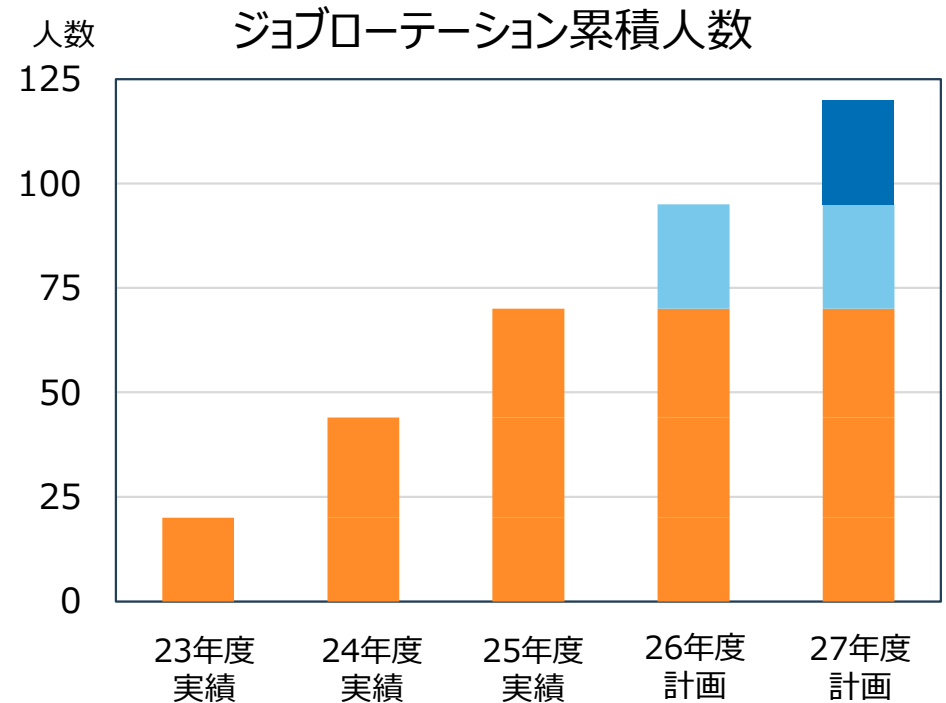
- 中途採用活動を積極的に展開

	23年度	24年度	25年度
中途採用者数	67	71	65



多様な成長を促すローテーション実行状況

- 入社5～10年目までの人材ローテーションを実施中



➤ 多様な人材が育ち、挑戦できる組織風土を実現していく

4 - 3 . Rolling Vision 2026 機能戦略：人材

人材の多様化を推進中

(※) 三井E&S単体の数値

(※) 各年4月1日時点での実績と計画、なお「キャリア」は各年4月から翌3月までの通年の実績と計画

女性比率

技術系新卒・キャリア採用共に強化

集計範囲		24実績	25実績	26実績	27計画	28計画	30計画
管理職		3.2%	4.0%	4.0%	4%	5%	
従業員全体		7.4%	8.0%	8.0%	9%	9%	10%
採用比率	技術職新卒	13.3%	7.0%	8.6%	13%	13%	
	キャリア	16.7%	6.5%	10%	10%	10%	

外国人比率

海外大学生への採用を強化

集計範囲		24実績	25実績	26実績	27計画	28計画	30計画
管理職		0.3%	0.6%	0.6%	1%	1%	
従業員全体		1.9%	3.2%	4.4%	5%	5%	7%
採用比率	技術職新卒	3.3%	28.6%	8.6%	7%	7%	
	キャリア	4.5%	0.0%	5%	5%	5%	

➤ キャリア採用の強化、海外大学生の採用を進め、人材多様化を推進していく

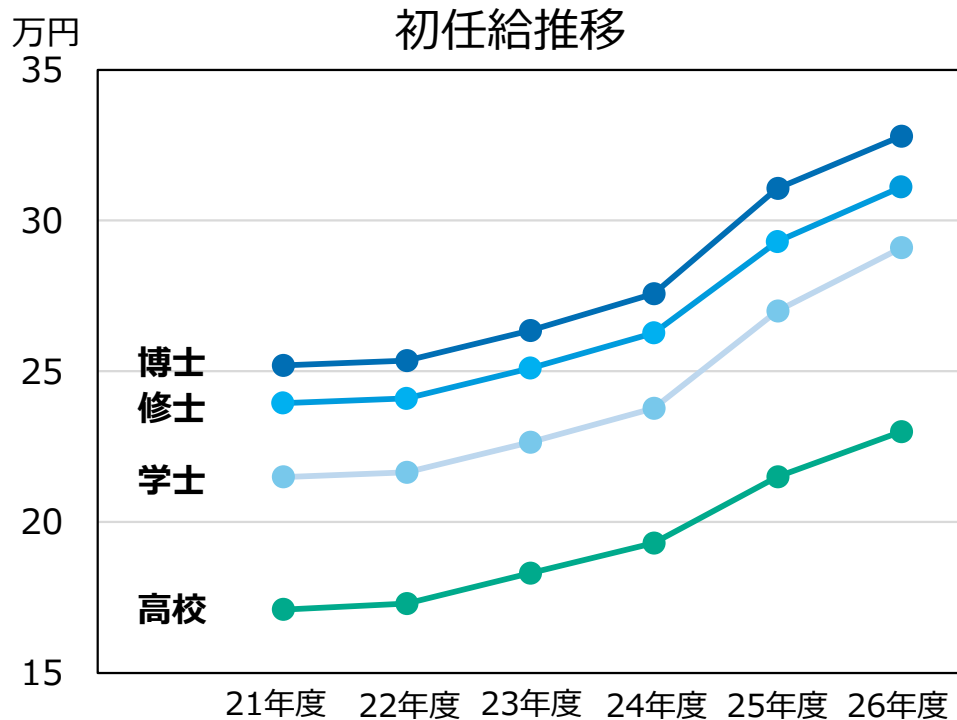
4 - 3 . Rolling Vision 2026 機能戦略：人材

人的資本への投資を推進中

人的資本への投資（働きやすい環境整備）

初任給増額

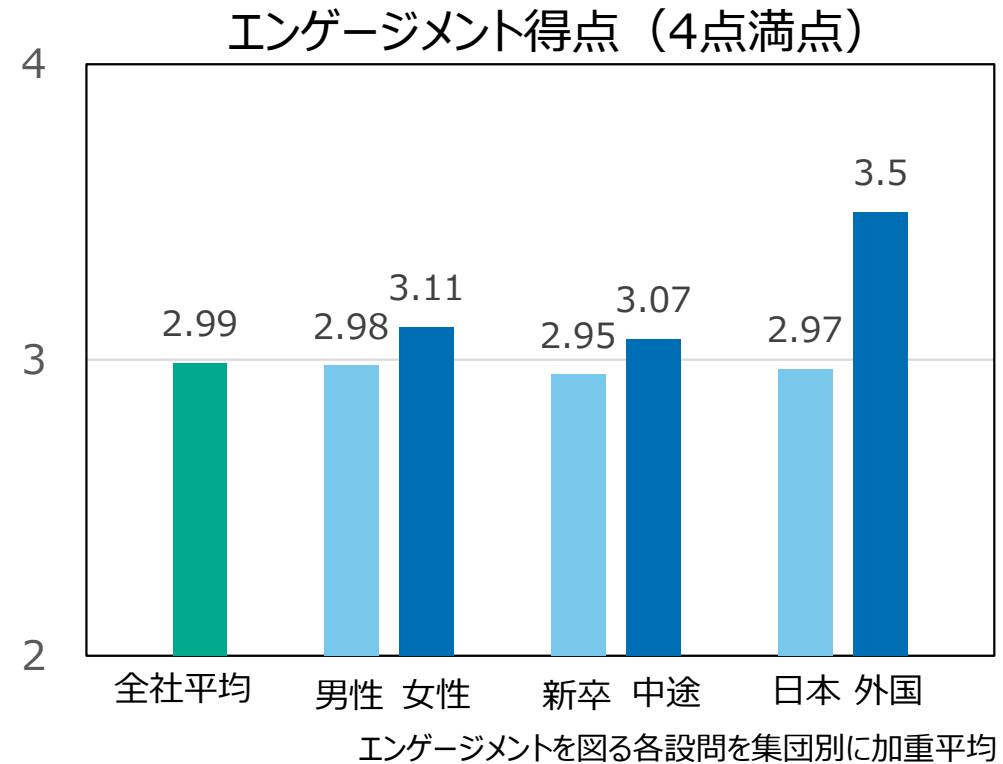
- 2026年度は全学歴6%以上の上昇



社員の意識を可視化するエンゲージメントサーベイ

2025年に実施

- 男女、新卒・中途等で傾向に差異がみられる

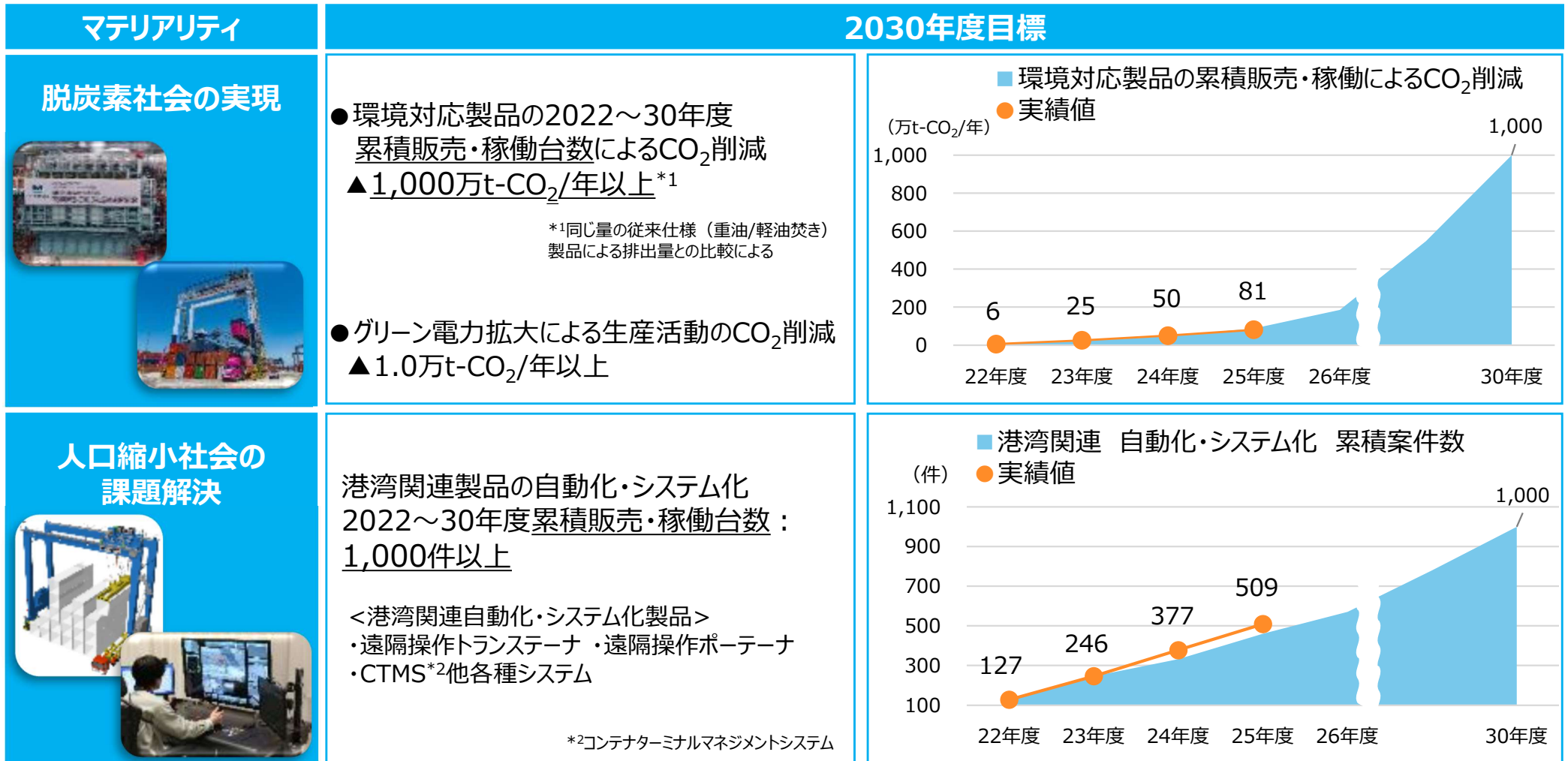


➤ 引き続き働きやすい環境の整備と働きがいの向上を目指す

5. サステナビリティ課題への取り組み

環境対応製品の投入、自動化製品の提供により目標達成を目指す

2025年8月25日 24年度の温室効果ガス排出量に関する第三者検証意見書取得



➤ 事業に即した指標・目標を設定し、課題への取り組みは順調に推移している

6. おわりに

三井E&S Rolling Vision 2026

<p>三井E&S Rolling Vision 導入後3年目</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 2025年度業績はRolling Vision 2025の計画を上回り進捗 ● Rolling Vision 2025からの正常進化を狙い Rolling Vision2026を策定
<p>機能戦略</p>	<p>財務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主資本コストや負債コストを意識した経営管理 ● ROIC > WACCを堅持する ● 持続的な成長投資を行い、株主還元を進める
	<p>人材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中途採用者数増などによる組織の活性化と成長 ● ジョブローテーション制度を浸透 ● エンゲージメントサーベイを実施し、働きがいの向上度合いを計測
<p>事業戦略</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● マーケティングとイノベーションを切り口に、中核事業のさらなる成長 ● マテリアリティの解決に向けた中核事業の成長投資と、新規事業の展開

➤ 三井E&S Rolling Visionにより、さらなる企業価値の向上に努めてまいります



mitsui e&s

Engineering & Services for Evolution & Sustainability